

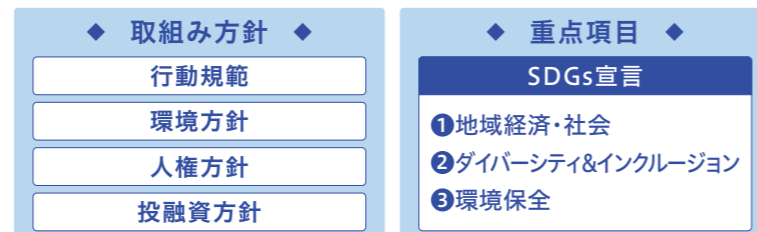
サステナビリティへの取り組み

京葉銀行グループは、「京葉銀行グループサステナビリティ方針」に基づき、持続可能な社会の実現と当行グループの企業価値向上の両立を目指し、サステナビリティを巡る課題への取り組みを行ってまいります。

サステナビリティ方針

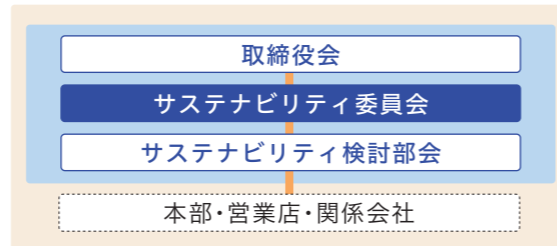
京葉銀行グループは、金融仲介機能の発揮とお客さま本位の良質なサービスの提供等を通じて、気候変動等の環境問題をはじめとするさまざまな社会的課題の解決に取り組み、地域経済の発展と当行グループの企業価値向上の好循環サイクルを創出し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■サステナビリティ方針



サステナビリティ推進体制

頭取を委員長とした「サステナビリティ委員会」を設置し、サステナビリティ向上に資する取り組みの進捗を一元的に管理するとともに、取締役会の監督を受ける体制としています。併せて、下部組織として「サステナビリティ検討部会」を設置し、サステナビリティを巡る課題への具体的な対応について、組織横断的に検討する体制としています。



SDGsの取り組み

重点項目	対応する主な目標	取組内容	参照頁
地域経済・社会	<p>お客さまや地域の課題解決を支援することで、地域経済の発展に貢献してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「SDGs寄付型私募債」を通じた寄付 サステナブル・ファイナンスの取り組み 地方創生「体験型」視察研修を実施 当行カレンダーへ千葉県出身の若手有望画家を採用 	P.8
ダイバーシティ&インクルージョン	<p>個人の多様性を尊重し、誰もが仕事や生活を充実させ、自分らしく活躍できる社会づくりに貢献してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男性の育児休業取得の促進 副業・兼業制度 多様な人材が活躍できる環境整備 	P.9
環境保全	<p>社会全体の環境負荷低減と環境保全に取り組み、低炭素・循環型社会の実現を目指してまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有機農業セミナーの開催 千葉大学×京葉銀行 ecoプロジェクト (古着市の実施、農業体験プロジェクトの実施) 	P.10

地域経済・社会への取り組み

「SDGs寄付型私募債」を通じた寄付

当行が私募債の発行企業さまから受け取る手数料の一部を抛出し、医療・教育・地方公共団体等に寄付を行うもので、発行企業さまが寄付先を指定することができます。2022年度上期は累計発行企業数40社、寄付額600万円となりました。(取扱開始以来累計:発行企業数221社、寄付額3,228万円)



右より、千葉県 健康福祉部長 高梨 みちえ
弊行 執行役員法人営業部長 吉田 稔

サステナブル・ファイナンスの取り組み

「京葉銀行グループサステナビリティ方針」を制定し、2021年度から2030年度までの10年間にESG関連投融资実行目標7,000億円を掲げるなど、サステナビリティを巡る課題への取り組みを強化・促進しております。「αサステナビリティ・リンク・ローン」、「αグリーンローン」、「SDGsローン」、「SDGs寄付型私募債」などの主要商品に加え、2022年7月に、社会的改善効果をもたらす設備投資を資金使途とする「αソーシャルローン」の取り扱いを開始するなど、サステナブル・ファイナンス商品のラインナップを拡充しています。

地方創生「体験型」視察研修を実施

2022年11月、当行が歴史的な観光資源を活用した地域振興に継続的に取り組む香取市佐原地区において、若手行員向けに地方創生を肌で感じることができる「体験型」視察研修を行いました。研修では、当行が佐原信用金庫とともに出資する観光まちづくり会社である株式会社NIPPONIA SAWARAの職員を講師に迎え、地域金融機関として地方創生に取り組む意義を講義形式で学んだほか、グループワークや佐原の町並み散策を通して、佐原の魅力が再認識しました。



当行カレンダーへ千葉県出身の若手有望画家を採用

1974年のカレンダーより、千葉県にゆかりの深い有名画家の作品をご紹介しており、2005年からは、今後ますます活躍が期待される若手画家をご紹介しています。2023年は、千葉市在住の日本画家、本多 翔氏が描いた千葉県内の風景画を採用しています。

